

令和3年度第1回鳴門市水道事業審議会 会議概要

開催日時：令和3年11月30日（火）午後2時から午後3時まで

開催場所：鳴門市水道会館3階第1会議室

出席者：審議会委員14名

【岡田委員、開発委員、近藤委員、佐藤委員、澤口委員、塩路委員、芝野委員、
中岸委員、都築委員、原委員、平野委員、益岡委員、森委員、矢野委員】

鳴門市4名

【池脇水道企画課長、寺前水道事業課長、事務局2名】

傍聴者1名

開催次第

- 1 開会
- 2 委員等紹介
- 3 会長及び副会長の選任について
- 4 議事
 - (1) 令和2年度決算状況について
 - (2) 鳴門市水道事業ビジョンの進捗状況について
 - (3) 鳴門市・北島町共同浄水場整備事業について
 - (4) 次回開催について
- 5 閉会

会議資料

開催次第

座席表

水道事業審議会委員名簿

鳴門市附属機関設置条例

鳴門市水道事業審議会運営要綱

【資料1】H28～R7収支見通し

【資料2】鳴門市水道事業ビジョン 主な項目の取組状況

【資料3】鳴門市・北島町共同浄水場整備事業に関する住民説明会資料

会議概要

- 1 事務局より委員の紹介を行った。
- 2 附属機関設置条例と審議会運営要綱の内容について、資料を用いて事務局より説明を行った。
- 3 会長に近藤委員、副会長に塩路委員をそれぞれ選任した。
- 4 議事（１）について、資料１を用いて事務局より内容の説明を行い、質疑を行った。質疑の概要は別紙のとおり。
- 5 議事（２）について、資料２を用いて事務局より内容の説明を行い、質疑を行った。質疑の概要は別紙のとおり。
- 6 議事（３）について、資料３を用いて事務局より内容の説明を行い、質疑を行った。質疑の概要は別紙のとおり。
- 7 議事（４）について、次回は令和３年度決算状況や鳴門市水道事業ビジョンの進捗状況の報告等を議題として来年度開催を予定しており、後日に改めて日程調整を行うと事務局より説明を行った。

【別紙：質疑概要】

・議事（１）令和２年度決算状況について

（委員）

今後の内部留保資金の見通しは。

（事務局）

内部留保資金は、現状とほぼ同額を維持できるように、企業債の借入で調整して収支を作成している。

・議事（２）鳴門市水道事業ビジョンの進捗状況について

（会長）

水質管理目標設定項目がほぼ達成となっており、少し気になるところではあるが、安全性には問題はないとの説明であった。

（事務局）

達成できていない指標は、ランゲリア指数と呼ばれるもので、水道管を維持管理していくうえで一定の範囲内に収めておくことが望ましいとされている。薬品の注入量で変動するものだが、薬品の注入量を減らすと安全性に問題が生じる可能性もあり、基準内に収められるよう検討中である。

・議事（３）鳴門市・北島町共同浄水場整備事業について

（委員）

１１５億円の事業費に対して国庫補助金はどれくらい入ってくるのか。

（事務局）

設計が完成していないため、補助金の金額は決まっていない。補助率は１／３であり、残りの部分についても一般会計の出資があり、出資に対して６０％の地方交付税措置があるため、実質的には５０％以上が国からの財源で措置される。

（委員）

新たに建設する施設の耐震性はどうなっているのか。

（事務局）

現行で定められている最高の基準を満たす耐震性能を持つ施設を建設する。

（委員）

津波の河川遡上についての対策は。

(事務局)

津波や大雨による浸水の影響を受けることのないよう、建物の高さを上げて建設するよう計画している。

(委員)

新たに建設する浄水場の規模はどのように設定したのか。一般用と工業用を分けて考えているのか。

(事務局)

新しい浄水場の処理能力は、鳴門市と北島町の水需要予測に基づいて供用開始時点の見込みで設定しており、その水量に応じて建設費の負担割合を決定している。工業用については、工業用水を使用している事業所の分は算入されていない。

(委員)

鳴門市側から北島町側に送る送水管が壊れると北島町には送水できなくなる。この対策は十分検討してほしい。

(会長)

今日の委員からの意見を踏まえて、今後事業を進めてほしい。